

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社エストアー 上場取引所 東
 コード番号 4304 URL https://Estore.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 柳田 要一
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室 (氏名) 塚田 亜希子 TEL 03-3595-2955
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,537	42.6	806	24.3	950	140.3	471	112.7
2023年3月期第3四半期	6,685	54.4	648	△18.7	395	△53.3	221	△59.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 558百万円 (126.0%) 2023年3月期第3四半期 247百万円 (△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	93.05	87.39
2023年3月期第3四半期	44.13	40.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,701	3,634	21.9
2023年3月期	12,036	3,444	23.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,217百万円 2023年3月期 2,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 現時点での配当予想額は未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	12,498	32.3	835	△7.2	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,131,780株	2023年3月期	5,636,636株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	865,377株	2023年3月期	607,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,072,375株	2023年3月期3Q	5,028,834株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(3) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（4月～12月）は、売上高は9,537百万円（前年同期比42.6%増）となりました。HOI事業として前連結会計年度中に連結子会社化した株式会社SHIFFONの売上が第1四半期より連結されていることが主な要因です。

営業利益は806百万円（前年同期比24.3%増）となりました。また、EBITDAは1,146百万円（前年同期比34.7%増）と収益力も強化されました。

EC事業につきましては、売上高4,636百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益536百万円（前年同期比20.1%増）となりました。企業のDX投資需要は引き続き旺盛であり、大型案件の受注が引き続き堅調なことから営業利益は大幅に改善しました。EBITDAも707百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

HOI事業につきましては、売上高4,900百万円（前年同期比112.1%増）、セグメント利益266百万円（前年同期比31.9%増）、EBITDAも435百万円（前年同期比84.4%増）となりました。連結子会社化した株式会社SHIFFONはアパレルを中心とした下期偏重の事業ポートフォリオを持つことから、当第3四半期は堅調に推移しました。

なお、2022年8月31日に行われた株式会社SHIFFONとの企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この会計処理の確定に伴って、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映された後の金額によっております。

（参考）報告セグメント別の売上高及び営業利益、EBITDA（％は対前年同四半期増減率）

セグメント別	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
EC事業	4,636	+6.0	536	+20.1	707	+15.0
HOI事業	4,900	+112.1	266	+31.9	435	+84.4
調整額	-	-	3	-	3	-
計	9,537	+42.6	806	+24.3	1,146	+34.7

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績につきましては、連結業績予想の変更はありません。

当社は株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題の一つであると認識しており、配当金につきましては、業績を反映させるとともに、今後の事業計画、財務状況等を総合的に勘案したうえで実施することを基本方針としております。

(3) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、14,701百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で2,664百万円増加し、14,701百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,095百万円、のれんが548百万円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で2,474百万円増加し、11,066百万円となりました。主な要因は、短期借入金が188百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が510百万円それぞれ減少した一方で、預り金が1,417百万円、長期借入金が1,502百万円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で190百万円増加し、3,634百万円となりました。主な要因は、自己株式が345百万円増加、非支配株主持分が240百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を471百万円計上したほか、資本金及び資本剰余金がそれぞれ255百万円増加したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,186,676	5,815,188
受取手形、売掛金及び契約資産	2,291,125	3,387,116
有価証券	—	141,830
商品	501,348	815,314
仕掛品	9,533	117,627
原材料及び貯蔵品	17,647	12,330
暗号資産	75,536	116,854
その他	262,526	403,631
貸倒引当金	△154,311	△155,795
流動資産合計	8,190,081	10,654,098
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	98,651	76,658
その他(純額)	219,204	207,637
有形固定資産合計	317,856	284,296
無形固定資産		
のれん	1,465,183	2,013,871
顧客関連資産	692,712	620,656
その他	154,437	81,118
無形固定資産合計	2,312,333	2,715,646
投資その他の資産		
投資有価証券	479,217	395,198
関係会社株式	334,754	353,478
敷金保証金	297,046	225,373
その他	105,380	73,315
投資その他の資産合計	1,216,398	1,047,365
固定資産合計	3,846,588	4,047,307
資産合計	12,036,670	14,701,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,181,316	1,214,971
短期借入金	1,378,944	1,190,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	510,000	—
1年内返済予定の長期借入金	432,509	670,790
未払金	204,600	240,570
未払法人税等	173,490	274,631
預り金	2,235,596	3,653,576
賞与引当金	—	82,693
受注損失引当金	—	10,807
資産除去債務	1,420	44,657
その他	714,899	627,264
流動負債合計	6,832,776	8,009,962
固定負債		
長期借入金	1,374,711	2,877,130
資産除去債務	115,421	72,103
その他	269,357	107,710
固定負債合計	1,759,489	3,056,943
負債合計	8,592,266	11,066,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,128	1,023,128
資本剰余金	257,883	512,883
利益剰余金	2,528,310	2,784,798
自己株式	△790,628	△1,136,547
株主資本合計	2,763,694	3,184,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,654	32,818
その他の包括利益累計額合計	22,654	32,818
非支配株主持分	658,056	417,417
純資産合計	3,444,404	3,634,499
負債純資産合計	12,036,670	14,701,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,685,844	9,537,324
売上原価	3,984,408	5,423,527
売上総利益	2,701,436	4,113,797
販売費及び一般管理費	2,052,876	3,307,365
営業利益	648,560	806,431
営業外収益		
受取利息	6,752	8,427
受取配当金	259	237
持分法による投資利益	5,451	18,723
為替差益	—	61,143
暗号資産評価益	—	41,318
デリバティブ評価益	—	41,229
開発支援金	9,400	—
ポイント還元収入	—	9,132
補助金収入	—	44,612
その他	16,712	2,463
営業外収益合計	38,575	227,289
営業外費用		
支払手数料	30,000	39,228
支払利息	25,802	30,191
暗号資産評価損	70,899	—
デリバティブ評価損	33,973	—
為替差損	129,020	—
訴訟関連費用	—	5,042
その他	1,762	8,608
営業外費用合計	291,459	83,070
経常利益	395,676	950,651
特別損失		
減損損失	—	42,004
関係会社株式売却損	1,249	—
債権放棄損	—	3,684
貸倒損失	—	6,994
その他	—	3,868
特別損失合計	1,249	56,553
税金等調整前四半期純利益	394,427	894,097
法人税、住民税及び事業税	128,139	450,803
法人税等調整額	25,416	△103,673
法人税等合計	153,556	347,129
四半期純利益	240,871	546,968
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,946	74,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,924	471,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	240,871	546,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,303	11,748
その他の包括利益合計	6,303	11,748
四半期包括利益	247,174	558,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,814	482,162
非支配株主に係る四半期包括利益	19,360	76,554

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式257,400株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得も含め自己株式が345,829千円増加しております。

また、2023年8月18日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部が権利行使され、新株発行を行い、資本金が132,600千円、資本剰余金が132,600千円増加しております。

さらに、2023年11月17日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債が権利行使され、新株発行を行い、資本金が122,400千円、資本剰余金が122,400千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金1,023,128千円、資本剰余金512,883千円、自己株式が1,136,547千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書「第5 経理の状況」の「注記事項（追加情報）（新型コロナウイルスの感染症の感染拡大による影響）」に記載した、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(財務制限条項)

長期借入金（1年以内返済予定の借入金を含む）のうち2,475,400千円（2023年6月30日付シンジケートローン契約）については、以下の財務制限条項が付されております。

- (1) 2024年3月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を直前の決算期末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%以上に維持すること
- (2) 2024年3月期決算以降、各年度の決算期の末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額を直前の決算期末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%以上に維持すること
- (3) 2024年3月期決算以降、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される当期損益が損失とならないようにすること

なお、当第3四半期連結会計期間末において、上記財務制限条項には抵触していません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	EC事業	HOI事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,375,079	2,310,765	6,685,844	—	6,685,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	—	3,000	△3,000	—
計	4,378,079	2,310,765	6,688,844	△3,000	6,685,844
セグメント利益	446,702	201,858	648,560	—	648,560

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

2022年8月31日付で、株式会社SHIFFONの株式を取得したことにより、第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、第2四半期連結会計期間より「HOI事業」を新たに報告セグメントに追加しております。この影響により、HOI事業のセグメント資産の金額は2,764,960千円増加しております。

なお、当該セグメント資産の増加金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式を取得し、連結子会社となったことにより、株式会社SHIFFONを連結の範囲に含めております。これにより、「HOI事業」セグメントにおいて、のれんが1,199,012千円発生しております。

なお、のれんの金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	EC事業	HOI事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,636,748	4,900,575	9,537,324	—	9,537,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,237	—	11,237	△11,237	—
計	4,647,986	4,900,575	9,548,561	△11,237	9,537,324
セグメント利益	536,692	266,270	802,962	3,469	806,431

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間消去取引であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社SHIFFONの株式の追加取得をしたことに伴い、「HOI事業」セグメントにおいて、のれんが713,084千円発生しております。

なお、のれんの金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(企業結合等関係)

(企業結合における暫定的な会計処理の確定)

2022年8月31日に行われた株式会社SHIFFONとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,074,054千円は、会計処理の確定により161,958千円減少し、1,912,096千円となっております。のれんの減少は、主に顧客関連資産が323,000千円、固定負債のその他が111,758千円増加したことによるものです。また、前連結会計年度末の顧客関連資産は302,812千円、固定負債のその他は104,773千円、非支配株主持分は94,300千円増加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。